



令和3年7月19日
 令和3年度学校だより NO.16①
 加古川市立平荘小学校

1学期に登校する最後の週がスタートしました

先週は、平荘っ子 あいさつ運動でした。児童会役員が、放送で「あいさつ」を呼びかけたり、登校の時間帯に玄関に立って進んであいさつの見本を示したりしながら、平荘小学校に、そして、平荘小学校の校区に、気持ちのよいあいさつが飛び交うように働きかけをしました。



- ①あいての目をみて
- ②じぶんから
- ③さわやかに
- ④いつでも どこでも だれにでも



児童会の力はすごいです。一日一日、相手の目を見て自分からあいさつをする人が増えてきました。

玄関で、毎日子どもたちを迎えてくれている先生方も、「顔をあげて、目を見ながらあいさつをする子が増えてきました。変化を感じます。」と言われていました。

登下校も同様です。お世話になっている地域の方々にも、自分から、心のこもった気持ちのよいあいさつを実行してほしいです。

平荘っ子のみなさん、気持ちのよいあいさつを続けていきましょう。

保護者の皆さま、ご家庭でも、あいさつについて話題に挙げていただき、声かけをお願いします。

ICTのルールについて話し合いました

7月12日(月)の代表委員会で、子どもたちが、ICTのルールについて話し合いをしました。自分たちの生活を振り返りながら、自分たちが進んで守ることができるルールを考えました。

詳しくは、個人懇談会の時に、担任から説明があります。夏休みには、3年生以上が実態に応じて、クロームブックを持ち帰る予定です。ご家庭でも、ICTのルールについて話し合ってみてください。



3度の引き渡しにご協力をどうもありがとうございました

7月7日（水）から7月14日（水）の1週間の間に、大雨警報による引き渡しが、3度もありました。子どもたちの安全を第一に考え、保護者の皆様に引き渡しの依頼をしました。度重なる引き渡しとなりましたが、保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただき、子どもたちを無事ご家庭に引き渡すことができました。本当にありがとうございました。

着衣水泳を行いました

どの学年も、着衣水泳の学習を行いました。

子どもたちは、長袖・長ズボン・靴下または体育館シューズを履いて、プールに入りました。

子どもたちは、「気持ちわる～。服がひっつく。」とか「重い。」とか言いながら、水着の時とは明らかに違いを感じていました。

最初に、着衣のまま歩いたり走ったりしました。

次に、着衣のまま浮きました。思ったようには動けなかったようです。

そこで、服の中に空気を入れてみることにしました。空気が入ると何もしない時より浮きやすくなりました。

さらにもっと楽に浮けるように、2Lの空のペットボトル（キャップを閉める）をラッコのようにお腹の上に抱えて上向きに浮きました。体の力を抜くとプカプカと上手に浮きました。

しかし、ここはプールです。穏やかな状態ですか、自然の中では、そうはいきません。水の流れが加わってきたり、水深も浅い所や深い所があったり、物が流れてきたりと、とても危険です。

着衣水泳の学習をしながら、水難事故防止についても話をしています。命はたった一つしかありません。その大切な命を守るのは自分です。もうすぐ夏休みです。きまりを守って安全に楽しく過ごしてほしいと思います。

